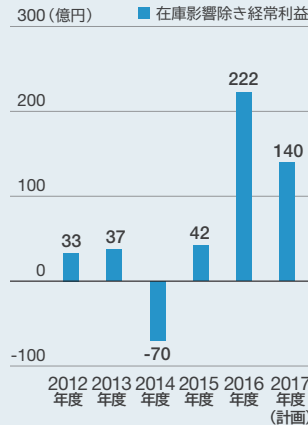




石油化学事業

経常利益



業績推移

2016年度の経常利益は、定修期間を除いて丸善石油化学がフル稼働を継続したことやエチレン好市況を享受したことなどにより、前期比180億円増益の222億円となりました。2017年度の経常利益は、エチレン市況のマージンを保守的に見込んでいるため前期比82億円減益の140億円を予想していますが、丸善石油化学における競争力の高いエチレン製造装置がフル稼働する計画で、高水準の利益が続く見込みです。



- 世界需要を牽引するアジアで一貫生産体制確立
- 国内最大規模のエチレン生産能力を基盤としたコスト競争力 (丸善石油化学)
- アジア最大級のパラキシレン生産能力を基盤としたコスト競争力 (HCP)[※]

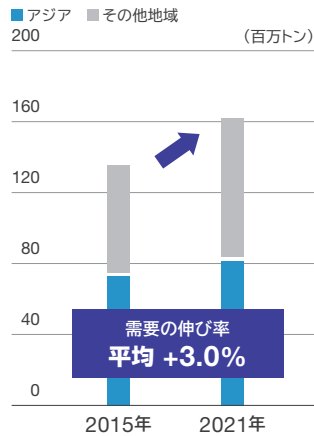
※Hyundai Cosmo Petrochemical, 韓国ヒュンダイオイルバンク (HDO) との合弁会社。

需要の拡大する市場で競争力を強化

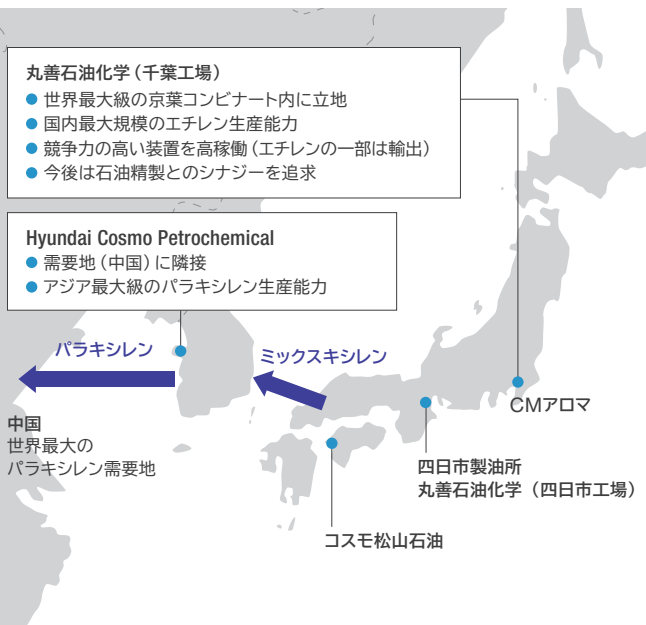
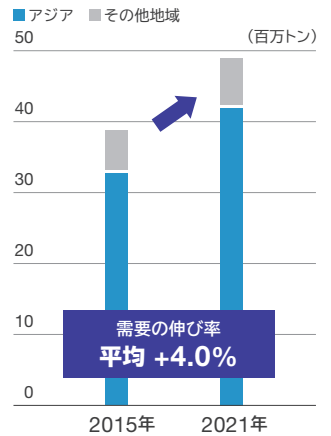
コスモエネルギーグループでは、国内最大規模のエチレン生産能力を誇る丸善石油化学、世界最大級のパラキシレン製造装置を保有するHCPがそれぞれ高稼働を継続し、高い競争力を有しています。

更に、丸善石油化学では、当社、および荒川化学工業と水素化石油樹脂の共同事業化の検討を進めるほか、コスモ石油千葉製油所とのシナジーの早期具体化など、石油精製事業との一体運営によるコンビナート全体の競争力強化を進めています。

世界のエチレン需要想定



世界のパラキシレン需要想定



コスモエネルギーグループの生産体制

項目	生産会社	生産能力
オレフィン系 エチレン	丸善石油化学	129万t/年
	計	129万t/年
アロマ系 パラキシレン	Hyundai Cosmo Petrochemical	118万t/年
	丸善石油化学	60万t/年
	Hyundai Cosmo Petrochemical	25万t/年
	コスモ松山石油	9万t/年
計	94万t/年	
ミックスキシレン	コスモ石油 (四日市製油所)	30万t/年
	CMアロマ	27万t/年
	コスモ松山石油	5万t/年
	計	62万t/年
アロマ系合計		274万t/年

※京葉エチレン (丸善石油化学が55%を出資する連結子会社) の生産能力を含む